『視聴覚資料組織法』

——(2) 録音資料編——

How to Organize Audio-Visual Materials in the Health Science Libraries

2. Sound Recordings

鈴木 康 綱*
自治医科大学図書館

竹 内 和 代
東京慈恵会医科大学医学情報センター

大 石 道 夫
東邦大学医学部図書館

I. 範 囲

前回のビデオ・カセットに比べ、録音資料は、その歴史も古く、長く、様々の機器、資料が輩出してきた。

そのため、こうした録音資料を区別するには、変化する状況に応じきれないものがあるが、資料として、所蔵館の多い、カセットテープ、レコードを取り上げ、特に医学用の市販されているものを対象とした。

II. 種類と選択

1. 形態・記録方式別

まず非図書資料の区分には、形態別に分類した井上、馬場¹⁾の定義や伊藤²⁾の記録方式による区分などがある。その特性と種類を表1に示した。

2. 内容別

録音資料は、内容によって以下のように分けられる。

- ① 音楽（観賞用・教育用）
- ② 語学（教育用）
- ③ 記録用（例えば、講演会等）
- ④ 専門別・特殊音（例えば聴診、心音等の医学教育用のもの）
- ⑤ その他（オーディオダイジェスト、カセットブック等）

医学図書館では、とくに④が収集の中心となるが、各図書館の方針によっては、上記の様々な資料が収集される。

III. 収集・受入れ

録音資料の収集もビデオカセットと同様、収集方針を明確にし、以下の点に留意すべきである。

- 領域
- 対象とする利用者（学生向き、臨床医向き、患者向き）
- 対応する機器

録音資料が納品されたら、見積書、納品書、請求書を照合確認して、題名、点数、価格、破損の有無について、検収する。

ビデオカセットと同じく、チェック項目をまとめた『確認用紙』（図1）を用意しておくとし便利である。加えて、宣伝用のパンフレットや、カタログ類は保存しておいて、分類、目録、閲覧等に活用するとよい。

納品された録音資料（レコード、ソノシート、カセットテープ）は必ず再生して確認する。最低限チェックすべき項目は以下の点である。

- ☆ 外観・形状（カセットの誤消去防止用の穴、レコードの反り等）
- ☆ 音質
- ☆ 再生方式（モノラル・ステレオあるいはノーマルテープ・クロムテープ等の区別）
- ☆ 再生速度・時間
- ☆ 付属資料（解説書）

* Yasutsuna SUZUKI: Jichi Medical School Library, Minami Kawachi, Tochigi, 329-04, Japan.
(昭和59年11月15日 受理)

表 1. レコード、テープの特性一覧

1 分間 回転数	材料	寸法	厚さ	強さ	吸塵性	音溝の巾	針圧	録音時間	備考
33 $\frac{1}{3}$ 回転 (LP)	硬質塩化 ビニール 樹脂	外径 25-30cm (25cm以下のも もあり) 17.5cm	2mm 前後	割れにくい 柔らかくて磨つきやすい 反りやすい 熱に弱い 水分に強い	あり 面と針との摩擦 強く面を滑らす る摩擦 ジャケットの出 し入れ摩擦 帯電防止のもの あり	0.05mm それ以上細い ものもある	10g以下でない と音溝をいため る (7g~1gが 適当で平均5g ~7g)	25cm片面 20-23分 30cm片面 30-35分 45分前後もあり(LP) はやや短い	実音に近い 弾力があり割れない 保管場所のすのに注意を要する 針を磨くや手入れに入念を要とする 比音は同じ33回転だが溝の巾を広くとり大きい 音量の録音を完全にするようにしたので録音 時間はLPよりやや短い
45回転 (EP) ドーナツ盤	同上	同上	同上 ($\frac{3}{4}$ は部分 が厚くな っている)	同上	同上	同上	同上	片面4~5分 8分まで延長されたものも あり	録音できない ラベル部の厚さ音溝部より2倍以上厚くなってい るので録音が磨つきにくい ドーナツ盤で33回転のものもある 録音時間が8分間まで延長されたものをEP (Extended Playing)と称する
オーブ ンテー プ	リール	3号テー プ	0.050	熱に弱い	強磁気に注意す ること	録音時間(往復) (分)		19cm/sec	録音できる 実音にふかい 録音が少ない 最近では、長時間の音楽観賞用に用いられる
		5号テー プ	0.050			4.4cm/sec	9.5cm/sec		
		7号テー プ	0.050			4.0	2.0		
			0.037			8.0	4.0		
			0.037			12.0	6.0		
カセ ット テー プ	C-30 C-60 C-90 C-120		0.050	熱に弱い 磨はつきにくい構造	強磁気に注意す ること	1.80	9.0	このほかに4.6分5.0分 等、様々な用途別の機種が でてきた)	実音に近い、録音もでき、雑音もすくない 機種も多彩になっている コンパクト、手巻というこで一般に多く普及 している
			0.050			2.40	12.0		
			0.037			3.60	1.80		
			0.018 0.018 0.012 0.009			3.0 6.0 9.0 12.0	3.0 6.0 9.0 12.0		
カー トリ ッ ジ テー プ			0.037 0.025	同上	強磁気に注意す ること	最長 60			最近はこの種のものが少なくなった

録音資料確認用紙		
○受入れ日 年 月 日		
○登録番号	○制作者	
○形態別番号	○制作年	
○標 題	○発 売 元	
○著 者	○受入れ先	
○発 行 者	○価 格	
○発 行 年		
* * *		
○音 質：良 可 不可	Mono Stereo	
○録音時間： 分 秒	カセット	オープンリール テープ
○数 量：	ノーマル	
○付属資料（有 無）	クローム	-----
	メ タ ル	レコード
* * *		
○内容要旨		
* * *		
○請求記号	主題標目 (MeSH)	その他

図 1. 『確認用紙』

IV. 登 録

ビデオカセットと同じく、録音資料も資産登録する場合と、消耗品扱いする場合とがある。

録音資料については、図書の付録または付属品のような形で販売されていることが多いために、どこの図書館でも、まず図書として扱われ、録音物は付録として、目録の注記に簡単に記述しているのが実状である。

1. 受入記録のみを作成する方法

特に原簿を必要としない場合(消耗品扱い)でも、受入記録は、残す必要がある。先に述べた『確認用紙』に一連番号をつけてファイルしておくのも一法であ

る。また、受入ノートを作成し、管理上必要な項目を控えておく方法もある。受入年月日、登録番号、発行者、発行年、標題、制作者、制作年、数量、受入先、価格、請求記号等の項目は設けておくほうがよい。

2. 「原簿」に登録する場合

2-1 図書原簿に登録する方法

一般の図書とは、区別せずに図書と同様の原簿に登録する方法。この場合は、視聴覚資料であることを明示し、その種別を記録しておく。

2-2 録音物のみを『視聴覚原簿』に登録して、付属資料は、それと分離して図書原簿に登録する方法

解説書を付属資料とはみなさず、独立した図書として扱う場合で、従来よくとられた方法である。

2-3 録音物と付属資料とを一括して『視聴覚原簿』に登録する方法

視聴覚資料は一般の図書とは形態を異にするので、原簿を視聴覚資料専用独立させて、独自の番号を与える方法。

V. 請求記号の決定

1. 形態別コードによる方法

主題分類せずに資料の形態別(メディア別)に受入れ番号を与える方法。

メディアの種別を示す略称には、ビデオカセット編と同じく、NLMで使用している形態別配架コードを利用するとよい。NLMで使用している録音資料に関する形態別配架コードは

AC Audiocassette
AT Audiotape
DC Disc である。

2. 主題分類による方法

2-1 図書に使用している分類体系を使用する方法

各館で採用している主題分類 (NLM, LCC, UDC, NDC) と図書記号の組合せで行う。図書と同様の方法であるがラベルの色を録音資料用に固定する等の配慮が必要であろう。

(* シリーズものの場合ここに巻数を記載するとよい)

2-2 主題分類と形態別の受入れ順に番号を与える方法

3. 配 架

配架は視聴覚室内、または、カウンター周辺に別置する方法と一緒に混架する方法とがあるが、ごく一般の図書館ではさまざまなメディア、視聴覚資料の増加する現在、管理の点からも別置しておくほうがよい。

特に、請求記号に形態別受入れ番号を採用する場合、

には、別置することが前提となる。

主題分類する場合でも、形態別配架コードを組合せて使用すれば、メディア別の別置が可能となる。

VI. 記述目録の作成

記述目録を作らずに、『タイトルリスト』を作成するだけで済ませる簡便な方法もある。

記述目録を作成する際には「Anglo-American Cataloguing Rules 2nd ed.(第6章)」(以下、AACR 2)「日本目録規則・新版・予備版・追録および修正1983(6項)」(以下、NCR)「非図書資料目録記入要領」「NLM Application」等をもとに行う。(参考資料参照)

1. 情報源

AACR 2, NCR における目録記述の情報源の範囲は、ほぼ一致するので以下のようにまとめた。

1-1 記述の情報源

記述目録のための主情報源は次の優先順位による

1. レーベル (録音テープのカセット、カートリッジまたはリールに永久的にはり付けられた紙やプラスチックなどのあらゆる貼付物)
2. 付随文字資料
3. 容器 (箱・レコードジャケットなど)
4. その他の情報源

1-2. 各書誌的事項の情報源

各書誌的事項	優先順位			
	1 レーベル	2 付随文字資料	3 容器	4 その他の情報源
タイトル	○	○	○	
責任表示	○	○	○	
版	○	○	○	
発行地/発行者/発行年	○	○	○	
形態に関する事項	○	○	○	○
シリーズ	○	○	○	
注 記	○	○	○	○

これらの情報源以外から得た情報は角がっこ [] に入れて記載する。

2. 記述方法

2-1 「日本目録規則新版予備版、追録および修正」による記述方法

[請求記号]	¹⁾ 標題 [²⁾ 資料種別表示] ³⁾ 副標題 巻次
	⁴⁾ 著作者表示 ⁵⁾ 版表示 ⁶⁾ 特定の版に関係のある著作者の表示 ⁷⁾ 発行地 ⁸⁾ 発行者 ⁹⁾ 発行年 ¹⁰⁾ 録音資料種別表示と数量表示 ¹¹⁾ 再生に必要な仕様 ¹²⁾ 大きさ ¹³⁾ +付随資料 (¹⁴⁾ シリーズ名, ¹⁵⁾ シリーズ番号) ¹⁶⁾ 注記 [標目指示] ○

1)から順に記述していくが特に注意する点を以下にまとめた。

2) **資料種別表示**……標題につづけて〔録音資料〕と記載する。

5) **著作者表示**……録音資料の内容に責任ある著作者(個人または団体)に、著作の種類を示す語(著, 作等)を付したものを記載する。

7) 8) **発行地, 発行者**……発売地, 発売者, 制作地, 制作者, 印刷地, 印刷者は原則として記載しない。ただし、これらが発行地, 発行者に代るものであるときは、それらを記載し, 「(発売)」 「(制作)」 「(印刷)」 と付記する。

発行者があっても、発売者と一致しない場合は発売者を注記する。

9) **発行年**……最新の発行年(著作権表示年)を西暦紀年で記載する。

録音年月日の表示があるときは注記する。

10) **録音資料種別表示と数量表示・再生時間**

2) の資料種別表示を記載しているので『録音』を省略してもよい。

録音カセット-----→ カセット○巻(○分)

録音カートリッジ-----→ カートリッジ○巻(○分)

録音ディスク-----→ ディスク○枚(○分)

録音リール-----→ リール○巻(○分)

再生時間の端数は切上げ分単位とする。

11) 再生に必要な仕様

再生速度……録音ディスクは1分間当りの回転数(rpm)で記載する。

録音テープは標準(4.76 cm/ s)以外のみ1秒間当りのcmで記載する。

トラック数……録音テープは標準(カセット4本, カートリッジ8本)以外のみ記載する。

チャンネル数……必要に応じて「モノラル」「ステレオ」等と記載する。

大きさ……録音カセット }
録音カートリッジ }

標準(カセットは6.4×10 cm, カートリッジは13.4×10 cm) 以外のみ縦×横『○×○cm』と記載する。

録音ディスク }
録音リール } 直径『○cm』と記載する。

付随資料……『+』の後に資料の性質を示す語句を付し, 必要に応じて数量・大きさを()に入れて記載する。

[目録例]

NCR に準拠した目録例

<p>1/2</p> <p>[請求記号] 新・国際医学会のための英会話 [録音資料] = English conversation for the International Medical Congress 青木照明 監修 東京 メジカルビュー社 1983 カセット 3 巻 (119 分) + 解説書 (151 p. 26 cm) 箱入 発売: グロビュー社</p> <p>○</p>	<p>2/2</p> <p>[請求記号] 新・国際医学会のための英会話 [録音資料]</p> <p>内容: At the Registration Desk (20 分) Opening Ceremony (6 分) . . .</p> <p>[標目指示]</p> <p>○</p>
--	---

[目録例]

国立国会図書館印刷カードによる目録例

<p>[請求記号] 新・国際医学会のための英会話 青木照明著 [東京] メジカルビュー社 1983. 10 151 p. 26 cm 発売: グロビュー社 付属資料 (録音カセット 3 巻 箱入) 外箱入</p> <p>[標目指示]</p> <p>○</p>

<p>[請求記号] 糖尿病の眼底検査 [録音資料] 松井瑞夫 [述] 東京 日本メルク万有 1978. 12 録音カセット 1 巻 (Medical services digest) 付 (別冊 44 p. 19 cm) 付 (スライド 8 枚 5 × 9 cm) 箱入 (22 cm)</p> <p>[標目指示]</p> <p>○</p>
--

2-2 「AACR 2」による記述方法

第1レベル

本タイトル/最初の責任表示, ただし, 基本記入の標目と形や数において異なっているか, または基本記入の標目がない場合. 一版表示. 一資料 (または出版物の種類) 特性細目. 一最初の出版者など, 出版年など. 一資料の数量. 一注記. 一標準番号.

第2レベル

本タイトル [一般資料表示] = 並列タイトル: タイトル関連情報/最初の責任表示; 2番目以降の各責任表示. 一版表示/版に関連する最初の責任表示. 一資料 (または出版物の種類) 特性細目. 一最初の出版地など: 最初の出版者など, 出版年など. 一資料の数量: その他の形態的細目; 大きさ. 一 (シリーズの本タイトル/シリーズに関連する責任表示, シリーズの ISSN; シリーズ番号, サブシリーズのタイトル, サブシリーズの ISSN; サブシリーズ番号). 一注記. 一標準番号.

第3レベル

第3レベルの記述には AACR 2 の規則中にある要素で, 記述対象の資料に適用される要素は総て含める。

AACR2 では, 3 段階の記述方法を提示しているが, 各図書館の必要に応じた記述を選択すべきである。

ここでは第2レベルの記述方法を取りあげた。

[請求記号]	¹⁾ 本タイトル○ ²⁾ [一般資料表示] ○ ³⁾ =○並列タイトル○:○
	⁴⁾ 副書名○; ○ ⁵⁾ 巻次○/○ ⁶⁾ 責任表示○— ⁷⁾ 版表示○— —○ ⁸⁾ 発行地○: ⁹⁾ 発行者, ○ ¹⁰⁾ 発行年. ¹¹⁾ 資料の数量○: ○ ¹²⁾ その他の形態的細目○; ○ ¹³⁾ 大きさ○ + ¹⁴⁾ 付属資料○—○ (¹⁵⁾ シリーズ名○/○ ¹⁶⁾ シリーズに 関連する責任表示). — ¹⁷⁾ 注記. [標目指示]

○

○はスペースをあらわす

1)から順に記述していくが特に注意する点を以下にまとめた。

2) **一般資料表示**……本タイトルのすぐあとに[Sound recording]と記述する。

6) **責任表示**……記述対象のタイトルと責任表示にあげた個人または団体との関係が明らかでない場合は語または短い句を責任表示に補記する。

How to save your management time [Sound recording]/ [produced by] Teach'em, Inc.

8) 9) **発行地, 発行者**……発行会社名とその会社の部門名またはその会社が使用している商標名がついている場合は, 発行者として部門名または商標名を記述する。

ただし商標名が発行会社の部門名ではなく, シリーズ名であるとおもわれる場合は商標名をシリーズとして記述する。

音盤のレーベルの表示

Disney Storyteller. Walt Disney Productions
次のように記録する

London: Walt Disney Productions . . . -
(Disney storyteller)

10) **発行年**……録音年は注記する。

制作地, 制作者, 制作年 . . .

発行者が不明の場合は制作地および制作者を記載, 制作地, 制作者, 制作年が発行地, 発行者, 発行年と異なるが, 重要と考える場合はそれらを記載する。

London: Arts Council of Great Britain,
1976 (Twickenham: CTD Printers, 1974)

11) **資料の数量**

物的単位数……アラビア数字の後に次の用語を用いる。

Sound cartridge

Sound cassette

Sound disc

Sound tape reel

Sound track film

一般資料表示に Sound という語が含まれているので Sound を省いてもよい。

再生時間……総再生時間を分単位(端数は切り上げ)で記載する。再生時間が5分未満の場合は分と秒で記載する。ただし, 再生時間が表示されていない場合は, 容易に確認できれば概算時間を記載する。

12) **その他の形態的細目**……以下の細目を必要に応じて記載する。

再生速度……ディスクは rpm. (1分間当りの回転数)で記載する。

テープスピードは ips (1秒間当りのインチ数)で記載する。

トラック数……標準トラック数でない時のみ記載する。

録音チャンネル数……mono, stereo, quad のうち一つ記載する。

1 disc (20min.) : 33 1/3 rpm, stereo.

1 tape reel (ca. 60min.) : 1 7/8 ips, 2 tracks, mono.

13) **大きさ, テープ幅**

disc……直径をインチで記載する。

cartridge……標準 (大きさ 5 1/4 × 3 7/8 in. 幅 1/4 in.) 以外は記載する。

cassette……標準 (大きさ 3 7/8 × 2 1/2 in. 幅 1/8 in.) 以外は記載する。

tape reel……直径をインチで記載 幅は標準 (1/4 in.) 以外は記載する。

14) **付属資料**

1 cassette (60min.) : 1 7/8 ips. + 6 guides + 3 handouts + 1 script.

1 disc (50min.) : 33 1/3 rpm, stereo. ; 12in. + 1 pamphlet (11p. : col. ill. ; 32 cm)

* * *

[目 録 例]

AACR 2 に準拠した目録例

[請求記号] Intensive review of internal medicine [Sound recording] : a home study course for the practicing physician/Harvard Medical School & Peter Bent Brigham Hospital.--New York : Audio Visual Medical Marketing, c 1977.

32 cassettes (1920 min.) : 1 7/8 ips, 2 tracks, mono. + 1 text (100 p. ; 26 cm.)

Contents : Pulmonary disease (60 min.)--Endocrinology (60 min.).....

[標目指示]

[目 録 例]

NLM Audiovisuals Catalog による目録例

[請求記号] The New psychiatry [sound recording] : biological foundations for modern practice/McLean Hospital, Facility for Continuing Education.-- [Belmont, Mass.] : The Hospital, c 1981. 14 sound cassettes (1320 min.) : 1 7/8 ips + 1 guide. Title from accompanying material. Recorded on both sides. Includes guide (137 p.) and post-test. Approved for 22 credit hrs. in category 1 for the Physician's Recognition Award of the AMA.

1. Psychiatry - audiocassettes I. McLean Hospital. Facility for Continuing Education.

04 NLM : WM 100 AC no.4 1981

Price :

Sale : Audio Visual Medical Marketing, Inc.,
250.00

Source :

Audio Visual Medical Marketing, Inc.

Cit. No. 8200401 A

*

*

*

これまでに述べてきた記述目録作成のための情報源
●記述方法●目録例をもとに、記述が困難とおもわれる以下の資料について目録を検討した。

目録記述に採用すべき標題は、本来はカセットラベルのタイトルであるが、写真のような場合は総合的に判断すべきであろう。

『国際学会・会議のためのハンドブック』（ヘスコインターナショナル刊）

① NCR に準拠

1/2

[請求記号] 国際学会・会議のためのハンドブック [録音資料]
= Handbook Presentation techniques for international scientific meetings William L. Millard,
森亘監修
東京 ヘスコインターナショナル 1984
カセット 6 巻(237 分)+解説書(225 p. ルーズリーフ)
箱入

○

2/2

[請求記号] 国際学会・会議のためのハンドブック [録音資料]
副書名：英語による上手なプレゼンテーション
How to deliver an effective presentation in english
カセット・レペール：English for international scientific meetings.
内容：1-A 開会式に役立つ英語表現(27分)...

[標目指示]

② AACR 2 に準拠

1/2

[請求記号] Presentation techniques for international scientific meeting [Sound recording]=国際学会・会議のためのハンドブック/監修：William L. Millard, 森亘, --東京：Hesco, 1984.
6 cassettes(237 min.) + 1 looseleaf textbook(225 p.; 29 cm).
Spine title : For international scientific meetings.
Cassette label title : English for international scientific meetings.

2/2

[請求記号] Presentation techniques for international scientific meeting [Sound recording]
Contents : English for opening international meetings (27 min.)--English at the Registration Desk (18 min.) . . .

[標目指示]

VII. 装 備

☆装備時にはツメがおられて誤消去防止を確認する

おのこのカセットテープには登録番号又は整理番号と所蔵表示のみにしておく。
カセットテープの場合にはノーマル、クロム、メタル等のテープ表示をしておくとし便利。
ラベルやスタンプは最小限必要なものとする。

VIII. 保管と保管条件

レコード、カセットテープを保管するには、①書架(専用)を利用する方法と、②ソフトキャビネット(専用ラック)を利用する方法の2種ある。ソフトキャビネットは引出し型のものとシェルフ型のものがある。市販されているものもあるが、図書館にある普通の書架や他の目的のために作られた事務用キャビネットや引出しを転用するのも一法である。工夫さえすれば、形態的には、規格サイズのものが多いから下記の点に充分注意して、利用者の興味を引くことと、利用し易いことを心がければよいだろう。

- ①ディスクの反りに気をつけ、ちり、ほこりが付かないようにする。
- ②ディスクの音溝部分とテープの磁性体の面を素手で扱わない。
- ③高温・高湿を避け、20℃ 50%に保つ。
- ④強磁性体に近づけない（とくに Book Detection

System はテープに悪影響を及ぼすので注意する)

⑤直射日光にさらさない。

もちろん、視聴覚資料は資料から再生される映像や、音響に価値があるのだから、資料の点検は厳格に行って損傷したり破損した資料はその程度に応じて補修、修理、除籍を考えておくべきである。

また点検ばかりではなく、再生装置の点検、調整も忘れてはならない。図書館に設置してある機器はもちろん、利用者所有の機器についても何らかの方法でチェックし、水準以上の機器で再生することを条件に貸出したほうがよい。

加えて、最近のオーディオ製品の品質、機能、メカニズムの急速な進歩、発展により、小型化、簡便化、パーソナル化が進み廉価になることによって、複製、再生が非常に簡単、手軽になり、ともすると著作権や、個人のプライバシーをおかすようなことにもなりかねない。取り扱う者が図書館員であることを常に念頭におき、資料の複製については慎重に対処することを忘れてはならない。

オーディオ主要関連用語

イコライザー [equalizer]

テープレコーダーで録音・再生するとき、もとの信号レベルと再生出力電圧が同一でないことがある。そこで周波数レベルを平坦にするために、電気回路で周波数の補償(等化)をすることをいう。

インピーダンス [impedance]

電気回路に交流電流を入れた場合、その電流に対して働く抵抗のことで単位はオームで表示される。アンプとスピーカー、テープデッキとマイク、レコードプレイヤーとアンプ、ヘッドホーン等、2個以上の機器を接続する場合に入力、出力系統でインピーダンスが定格外であると、適正な録音や再生など機器の性能を十分にひきだす事ができない。

オート・テープセクター

オート・テープセクターはカセットハーフの検

出穴によってテープの種類をノーマル、クローム等を自動的に検出し、イコライザー、バイアスをセットする機能である。

オート・リバース [auto reverse]

カセットテープのテープが巻き終りまでいくと自動的に反転動作(4チャンネルヘッドを使用する方式, ヘッドを往復2組使用する方式, 2チャンネルヘッドを180度回転する方式)をし, ふたたび録音, 再生を実行する機構のこと。

ヘッドを180度回転させる方式の方が, 正転, 逆転とも同一ヘッドを使用するため安定した性能が得られる。そのためテープ走行系が複雑ではあっても, この方式(ロータリーヘッドを使用)が一番多い。中にはカセットホルダー本体ごと自動的に反転させる機構の機種もある。

カートリッジ [cartridge]

レコード・プレイヤーのトーンアームの先端にあり, 針先で受けた機械振動を電気信号に変換する部分で, 着脱形式が多い。

変換方式(発電機構)によって各種あるが, 大別すると発電型(MM型, MC型, MI型)と制御型(コンデンサー型, フォトダイオード型)がある。針先の交換をする場合には指定された専用の針先を使用する。交換した使用済の針先やカートリッジは, オリエンテーション用に保存しておくことと便利である。

針 圧

カートリッジの針先 対 レコード音溝の圧力のことで指定重量より軽いと針先が浮き, 『音とび』を起す。逆に重すぎるとレコード盤をきずつけたりするので注意を要する。

針圧1gでも数トンの圧力が音溝にかかる。指定カートリッジには適正針圧1.5g+0.2g等の記載があるので指示どおりに調整する。

ジャック [Jack]

レコードプレーヤー, テープデッキなどからアンプ, スピーカー等への入力, 出力用接続端子のこと。それらの接続端子にマッチする接続コードを購入する必要がある。6.3Φ標準ステレオタイプジャックを簡単に3.5Φミニモノラルに変換できるなど, 各種プラグアダプターを用意しておくことと便利である。

ダイナミック・レンジ [dynamic range]

小さな音からフルオーケストラのような大きな音までの範囲を強弱でどれ位再現できるかどうかをdBデシベルで表示する。数値が大きいほど能力がすぐれている。

レコードやテープの再生では50dB前後が普通である。人間の可聴範囲のダイナミック・レンジはおおよそ100dBといわれている。

ドルビーNR [Dolby noise reduction]

テープの雑音を低減するための回路で, AからCタイプまで規格が統一されている。Aタイプはレコーディングスタジオ用として開発されたもの。B, Cタイプは500Hz以上を1帯域処理する回路で多くの機器で採用されている。現在はBタイプが一般的である。

NR回路で録音されたテープは再生時にも同様にNRタイプの指定が必要である。レベルメーターに表示されたドルビーマークをポイントにして録音レベルと再生レベルを一定に調整しなくてはならない。

ハウリング

スピーカーの音がレコード・プレイヤーに伝わり, その振動をカートリッジが感知して相互干渉を起し, 耳障りな音を発することをいう。また, マイクロホンの位置や指向性がスピーカーと干渉し発する『ピー』音もハウリングと呼ぶ。簡単な対策として, 機器は同じでも設置場所や方向を工夫することで防げることが多い。

VUメーター [Volume Unit meter]・ピーク・レベルメーター [Peak level meter]

録音入力レベルに反応して, 指針などで表示される音量計。単位はデシベルで表示される。

前者は電圧計で1kHzの正弦波が0.3秒持続されると正しい値を示す。後者は瞬間的に変化する入力信号量を正しい値を示すまでアンプで維持するメーター。したがって前者より正確に入力信号を読み取ることができ, 音が歪む寸前まで録音レベルの

調整が可能である。ただし針の動きは速く、実際に耳で聞える音の大小と一致はしない。

ワウ・フラッター〔Wow flutter〕

レコードプレーヤー、テープレコーダー等、回転機構を内蔵している機器のカatalogには必ず記載されている数値で、ワウ(周期の遅い回転ムラ)と、フラッター(1秒間に10回以上の周期で起る回転ムラ)とがある。測定数値はワウ・フラッター0.05%などと速度変動率の実効値で表わされている。聴感上これらの歪は0.3%程で感知できるとされている。Catalog上はすぐれた測定値であっても、保守管理が悪いと直接影響を受ける部分なので、常に回転精度を一定に保つよう注意が必要である。

ダブルデッキ

2組の録音、再生機能を組み込んだカセットデッキのこと。長時間連続録音や再生、2倍速(9.5 cm/s)で一方のテープから他方へコピーする機構、ミュージックスキャン(プログラムの初めの部分を10秒程再生し、速送りする)機構、ブランクサーチ、ランダ

ムアクセス等いろいろな機能があり用途が広い。

レコード、VTRなどの著作権問題とのからみがあるが機種は豊富にあり、テープトラブル等にはコピー機として便利である。

文 献

- 1) 中坪礼治：カセット録音野外編，東京，日本放送出版協会，1975.
- 2) 吉田邦雄：テープレコーダー使い方百科，東京，日本放送出版協会，1976.
- 3) 出原真澄：オーディオ知識 150，東京，日本放送出版協会，1981.
- 4) 長沢国四郎：オーディオの基礎知識，東京，オーム社，1977.
- 5) 山下光良，皆川裕安：デジタルオーディオ技術，東京，オーム社，1981.

参考雑誌としては『電波科学』(日本放送出版協会)『ラジオ技術』(ラジオ技術社)が大変わかりやすく参考になります。

引 用 文 献

- 1) 井上英新，馬場南美子：AV資料の当館における現状と将来；一整理手法の実例報告. 医学図書館，27(1)：28-37，1980.
- 2) 伊藤敏朗：図書館におけるビデオ機器利用のための基礎知識. 医学図書館，30(4)：314-330，1983.

参 考 資 料

- 1) Anglo-American cataloguing rules. 2nd ed. Chicago, American Library Assn., 1978.
英米目録規則. 第2版 日本語版. 東京，日本図書館協会，1982.
- 2) AACR 2 interpretations for audio-visuals cataloguing. Notes for medical catalogers, A5-A8, 1981.
- 3) Basic media management-software (Medical

Library Association. CE31) Chicago, Medical Library Assn., 1979.

- 4) Fleischer, E : Cataloguing audiovisual materials : a manual based on the Anglo-American Cataloguing Rules II. New York, Neal-Schuman Publishers, 1980.
- 5) Forthengill, R. and Butchart, I. : Non-Book materials in libraries. 2nd. ed. Clive Bingley, 1984.
- 6) 国立国会図書館：非図書資料目録記入要領. 印刷カード通信, No. 58 : 2-5, 1982.
- 7) 日本図書館協会目録委員会：日本目録規則 新版予備版 追録および修正. 東京，日本図書館協会，1983.
- 8) 関 晶編：視聴覚ライブラリー (シリーズ・図書館の仕事・21) 2章，1967.